

# 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 令和元年度の事業報告（詳細版）

## I 公益目的事業

### 1 農林水産・食品分野における試験研究及び技術開発に功績ある者の表彰

農林水産業及び食品産業の技術革新を通じて国民への食料の安定供給と地域社会の健全な発展に寄与する観点から、試験研究に携わる研究者の意欲の増進と研究成果の普及を目的として、農林水産・食品分野における試験研究及び技術開発に功績のある者を表彰している。

#### 1) 第75回農業技術功労者表彰

農業技術・経営の研究又は技術普及に顕著な功績を挙げた功労者（平成31年4月1日時点において40歳以上）を対象に、農業技術功労者の表彰を実施した。

主催：農林水産省及び公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

表彰の対象者数：原則として6名以内

公募期間：令和元年6月4日(火)～8月6日(火)

選考委員会：令和元年9月19日(木) 農林水産省農林水産技術会議委員室

表彰式：令和元年12月13日(金) 三会堂ビル石垣記念ホールにて開催

受賞者（農林水産技術会議会長賞、五十音順）

湛水管理と土壌改良による水稻のカドミウム吸収抑制技術の開発

稲原 誠 氏（富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 農業バイオセンター 所長）

水田輪作におけるダイズ及び水稻の作業技術研究と普及

及川 一也 氏（株式会社クボタ アグリソリューション推進部 技術顧問（元岩手県農業研究センター 県北農業研究所長））

農耕地の窒素循環等の解明による環境保全型土壌管理技術の開発

糟谷 真宏 氏（愛知県農業総合試験場 山間農業研究所長）

多様な特性を持つりんご品種の育成と育種効率の向上

小松 宏光 氏（長野県果樹試験場長）

新奇形質を持つスイートピー切り花用品種の育成

柳下 良美 氏（神奈川県農業技術センター 生産技術部果樹花き研究課長）

環境保全に立脚した養豚管理技術に関する研究

脇屋 裕一郎 氏（佐賀県畜産試験場 中小家畜部長）

#### 2) 第20回民間部門農林水産研究開発功績者表彰事業

民間部門（農林漁業者を含む）における農林水産研究の優れた功績を表彰する第20回民間部門農林水産研究開発功績者表彰事業を実施した。

主催：農林水産省及び公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

表彰の対象者：民間部門で、農林水産分野の研究開発に顕著な功績・功労のあった個人または団体（生産現場に密着して、創意工夫により新品種の育成、新栽培法の創

出等、優れた技術開発の成果をあげた生産者を含む)

表彰の区分：農林水産大臣賞、農林水産技術会議会長賞、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会会長賞

公募期間：平成31年4月10日(水)～6月11日(火)

選考委員会：令和元年8月29日(木) 農林水産省農林水産技術会議委員室

表彰式：11月20日(水)午後 アグリビジネス創出フェア2019会場メインステージにて開催

【農林水産大臣賞 受賞者】

日持ちと輸送性に優れたトルコギキョウ品種の開発\*

森 一俊、堀内 慎吾、西尾 章(株式会社サカタのタネ)、佐瀬 昇(佐瀬農園)

【農林水産技術会議会長賞 民間企業部門 受賞者】

革新的殺菌技術を利用した果汁製造ラインの実用化

井上 孝司、大澤 直樹、西川 秀嗣、平光 正典、高柳 純司

(ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社)

DNAチップを利用した家畜感染症向け新検査システムの開発

後藤 浩朗、石川 正行、高橋 匡慶(キヤノンメディカルシステムズ株式会社)

宇留野 勝好(全国農業協同組合連合会)

【農林水産技術会議会長賞 農林漁業者部門 受賞者】

革新的な加工技術の開発による安納いものブランド化

西田 春樹(有限会社西田農産)

【公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会会長賞 受賞者】

トプラメゾン液剤による飼料用とうもろこし除草技術の開発

高橋 明裕、山田 茂雄(日本曹達株式会社)

水点濃縮製法による「明治おいしい低脂肪乳」の開発

宮内 淳、神谷 哲、加藤 誠太郎、宮川 淳美(株式会社明治)

(\*印の受賞者には園芸試験場百周年を記念して設けられた「園芸研究功労賞」が併せてJATAFF会長から授与)

### 3) 第15回若手農林水産研究者表彰事業

優れた功績をあげた若手研究者または将来の技術革新等につながる優れた研究業績をあげた若手研究者(平成31年4月1日時点において40歳未満)を対象に実施した。

主催：農林水産省

協賛：公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

表彰の区分：農林水産技術会議会長賞 5件以内

公募期間：平成31年4月10日(水)～6月11日(火)

選考委員会：令和元年8月28日(水) 農林水産省農林水産技術会議委員室

表彰式：11月20日(水)午後 アグリビジネス創出フェア2019会場メインステージにて開催

受賞者(農林水産技術会議会長賞)

動物由来薬剤耐性菌の実態解明とその対策に関する研究

臼井 優 氏(酪農学園大学 獣医学群)  
林相の違いに由来する林内の雨・土砂動態に関する研究  
南光 一樹 氏(森林総合研究所 森林防災研究領域)  
牛ルーメン微生物を用いた高効率バイオガス生産技術の開発  
馬場 保徳 氏(石川県立大学 生物資源工学研究所)  
侵入警戒を要するウイロイドの防除に関する研究  
松下 陽介 氏(農研機構 野菜花き研究部門)  
LED 光照射によるウンシュウミカンの腐敗軽減に関する研究  
山家 一哲 氏(静岡県農林技術研究所 果樹研究センター)

#### 4) 農事功績者表彰事業候補者の推薦

公益社団法人大日本農会から6月1日付で推薦依頼があり、大石一史氏並びにキャベツ収穫機開発グループ代表のヤンマーアグリ株式会社海外事業部開発部長 丸山高史氏及び同代表のオサダ農機株式会社代表取締役会長 長田秀治氏を推薦したところ、大石一史氏に「緑白綬有功章」、キャベツ収穫機開発グループ代表の丸山高史氏、長田秀治氏に「名誉賞状」が授与された。なお、表彰式及び祝賀会は令和元年11月21日(木)に三会堂ビル9階石垣記念ホールにて開催された。

## 2 農林水産・食品分野におけるイノベーション促進のための支援

試験研究機関における研究成果等を全国的に収集し発信するとともに、研究成果の普及・実用化過程における問題点や課題を明らかにすることで、試験研究機関において開発された研究成果が農林水産業や食品産業の現場で活用され、産業化に結び付くことを目的として以下の事業を実施した。

### 1) 情報の提供・普及

#### (1) 講演会、セミナー等の開催

- ア 記念シンポジウム 4月25日(木) 13:00~17:00 三会堂ビル石垣記念ホール  
「農業・食品分野におけるバイオテクノロジーの将来展望」  
当協会 荒蒔会長、日本育種学会 大澤副会長、他5名
- イ 記念講演会 6月17日(月) 15:20~16:40 三会堂ビル石垣記念ホール  
「ゲノム解析から明らかとなった日本列島人の来歴」  
国立遺伝学研究所 集団遺伝研究室 教授 斎藤 成也 氏
- ウ 技術情報交流セミナー（三会堂ビル会議室で開催）
- 第551回 9月26日(木) 植物ミトコンドリアのゲノム編集と細胞質雄性不稔原因遺伝子の特定  
東京大学大学院 農学生命科学研究科 植物分子遺伝学研究室  
准教授 有村 慎一 氏
- 第552回 11月18日(月) 大豆ミートの市場拡大を支える技術開発の動向  
不二製油(株) 開発部門 たん白素材開発室第三グループ  
グループリーダー 中野 康行 氏
- 第553回 令和2年1月16日(木) 地球温暖化に適応した水稻高温耐性品種の開発  
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究調整官 佐藤 宏之 氏

#### (2) 機関誌の発行、情報のホームページ等での公開

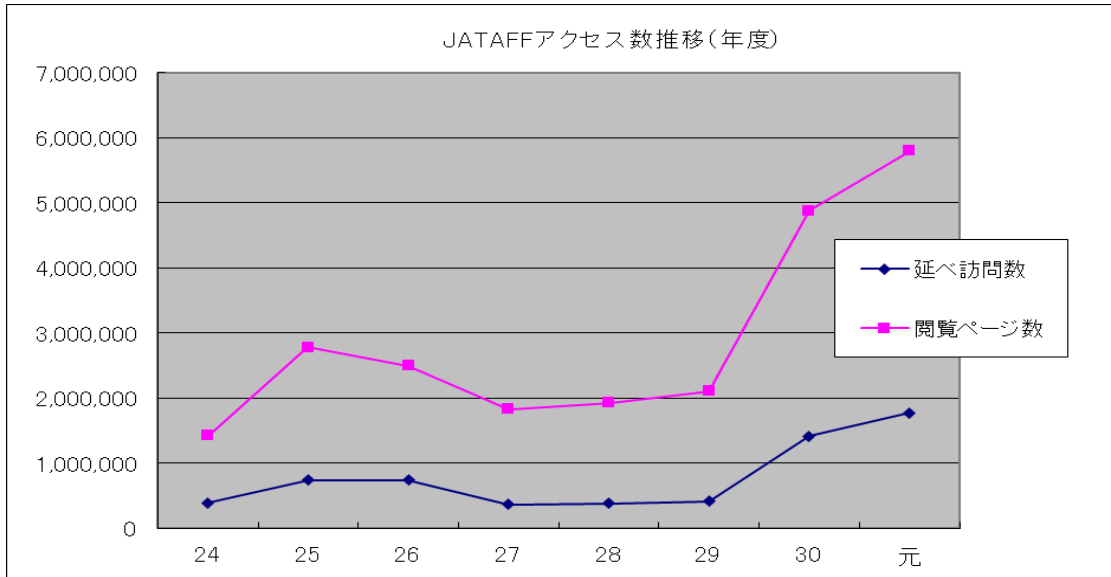
##### ア 機関誌「JATAFF ジャーナル」の発行（毎月1日に1,700部）

###### ー特集記事ー

- 令和元年4月号 第14回若手農林水産研究表彰者の業績  
5月号 未来を切り拓く先端的な生命科学への挑戦  
6月号 産学官連携によるイノベーション創出  
7月号 森林・林業活性化に向けた最新技術  
8月号 農業・食品分野におけるバイオテクノロジーの将来展望  
9月号 社会実装が進むAI農業  
10月号 鳥獣害対策研究の最前線  
11月号 水熱分解技術の農業利用の可能性  
12月号 カイコ・シルク新産業の創出に関する最新の研究動向
- 令和2年1月号 地域が誇る農の逸品2020  
2月号 持続的な水産と海洋環境を支える研究  
3月号 第20回民間部門農林水産研究開発功績者表彰受賞者の業績

## イ ホームページ（HP）の運営

ホームページの内容の充実を図りつつ、情報提供を行った。訪問者の推移については、年間の延べ訪問数は約177万件、また、ページビュー（閲覧ページ数）は約580万であった。Google等検索エンジン各社のロボットやマーケティングツールなどが頻繁にクロールするようになったこと、海外への品種登録支援など各種公募事業案内ページへのアクセスが増えたことなどがアクセス増加の一因とみられる。



## ウ メールマガジン「JATAFF ニュース」の配信

162号～187号配信, 号外(2019.4.2)を配信した(2020年3月31日まで)。

## エ 「グリーンレポート」作成事業(全農からの委託)

全農が発行する月間情報誌「グリーンレポート」に、公設農業関係試験研究機関等における最新の研究成果情報を収集し、営農に寄与する新技術に関する紹介原稿を提供した。

## (3) 「植物品種保護戦略フォーラム」の活動

植物品種育成者権の保護とその活用の促進に寄与するために「植物品種保護戦略フォーラム」(会員: 約180組織・個人)の事務局を担い、植物品種育成者権侵害対策や活用に関する活動として、品種保護制度と知的財産、種苗産業に関する施策、植物遺伝資源などをテーマとした講演会の開催、メーリングリストを通じたフォーラム関係者への情報提供(PVP19-1~149)、登録品種の統一表示マーク(商標「PVP」)の普及等に取り組んだ。

・総会、講演会 7月4日(木) 13:00~16:40 三会堂ビル9階「石垣記念ホール」  
講演会プログラム

「最近の種苗を巡る情勢報告」農林水産省知的財産課種苗室長 藤田 裕一氏  
「DNA品種識別技術に関する最新の動向」

公益財団法人かずさDNA研究所所長 田畑 哲之氏

「欧米における育成者権侵害の実態及び侵害に係る裁判事例」

桜坂法律事務所 弁護士 林 いづみ氏

「中国・韓国における育成者権侵害対策の実務」

C L S 日比谷東京法律事務所 弁護士 高橋 信慶氏

(4) 「新品種産業化研究会 (JSIP)」の活動

「新品種産業化研究会」の事務局として、地域経済の活性化につながる植物新品種の産業化を促進するため、法人18機関、個人33名が参加する同研究会において、関連情報の交換や共同研究の推進等を図った。

本年度は、当研究会のFacebookを1月17日に開設し、また、3月17日にはホームページを開設して積極的に情報発信を行った。

・総会、講演会 7月24日(水) 15:00~17:00 三会堂ビル2階S会議室

「わが国品種保護の国際戦略を考える」 JATAFF イノベーション事業部長 永田明  
○すいおう分科会

平成25年度に改訂した「すいおう活用ガイドブック」の内容を新たに見直し、3月中旬に冊子として印刷し会員等に配布した。

・分科会運営委員会 6月12日(水) 13:00~15:00 (株)東洋新薬東京支店

○油糧米分科会

・分科会総会 7月24日(水) 13:30~14:50 三会堂ビル2階S会議室

## 2) 新産業の創出、研究開発・成果の普及のための調査・支援

(1) 農林水産・食品分野の知的財産情報の集積と発信（植物品種の保護、開発等に関する調査研究）

### ア 東アジア包括的植物品種保護戦略事業

東アジア各国の品種保護制度の整備・充実に支援し、その国際調和を図るための活動を実施した。

4月10日(水) 第1回検討委員会

4月23(火)～24日(水) 2018年度意識啓発セミナー、本会合 (中国 北京)

7月9日(火)～11日(木) 高官によるPVP先進国(ベトナム)視察  
(ベトナム ハノイ、フンイエン)

9月3日(火)～4日(水) 第3回地域協力活動パイロットプロジェクト  
(ベトナム ハノイ)

9月6日(金) PVPダナンセミナー (ベトナム ダナン)

9月30日(月)～10月4日(金) ミャンマートマトDUS研修  
(ミャンマー ネピドー)

10月8日(火) 第2回検討委員会

11月21日(木) ベトナム ダラットPVPセミナー (ベトナム、ダラット)

12月17日(火)～20日(金) カンボジア トウモロコシのDUS試験研修  
(カンボジア プノンペン及び近郊)

2月13日(木) 第3回検討委員会

### イ 気候変動等に対応した海外遺伝資源の取得に係る枠組み構築委託事業

遺伝資源保有国と遺伝資源の取得・利用に関する枠組みを構築することにより、今後の遺伝資源の導入促進に資するための本事業のうち、東南アジア地域での植物遺伝資源調査と遺伝資源導入のための交渉を分担して取り組んだ（事業の実施主体であるアイ・シー・ネット(株)からの再委託）。

- ・第1回検討会 7月3日(月) 14:30～17:30 農林水産省本館6階 678会議室
- ・インドネシア及びベトナムとの種子交換にかかわる昨年度から本年度にわたる活動同意書の締結(9月)
- ・ベトナム第1回現地調査 9月5日～6日
- ・インドネシア第1回現地調査 9月9日～10日
- ・第2回検討会 12月3日(火) 農林水産省本館6階 678会議室
- ・ベトナム第2回現地調査(12月12日～13日)
- ・インドネシア第2回現地調査(12月16日～17日)
- ・第3回検討会 令和2年2月19日(水) 14:00～17:00 農林水産省本館 678会議室

### ウ 植物品種等海外流出防止緊急対策事業

海外において品種登録出願を行うことが我が国農産物の輸出力強化につながるものについて、海外出願に係る経費の支援を行った。35品種の登録が完了し、延べ287品種

752件の支援を継続している。

(一社)日本種苗協会、(一社)日本果樹種苗協会、全国食用きのこ種菌協会及び農研機構種苗管理センターとのコンソーシアムで運営した。

## エ 植物品種等海外流出防止総合対策事業

i) 国内外における総合的な植物品種保護対策を実施するため、海外出願支援体制の整備(相談窓口の設置、マニュアル作成、海外流出・侵害実態調査、侵害対応事例、ノウハウの提供)、出願に関する経費助成、育成者権侵害への対応、種苗資源の保護等を行った。

ii) 海外において植物品種の育成者権の保護の取組を進めるため、品種登録の迅速化(審査基準案の作成(イネ、アズキ、カンキツ類、オウトウ(台木))、次世代シーケンサーを用いた品種識別マーカー開発方法の評価検討、種子伝染性病害の検査法の実用化、種苗産業動向調査、許諾契約の促進等を行った。

(一社)日本種苗協会、(一社)日本果樹種苗協会、全国食用きのこ種菌協会、農研機構種苗管理センターとのコンソーシアムで運営した。



## (2) 農林水産・食品分野における実用化技術の普及状況に関する調査

### ア 食料生産地域再生のための先端技術展開事業における研究課題の進行管理調査等に係る業務委託事業

東北被災3県を対象とした食料生産地域再生のための先端技術展開事業において実施される現地実証研究課題11及び社会実装課題7の進行管理、調査取りまとめ等に関する業務を、27名の主担当及び副担当の専門POを配置して実施した。

なお、対象課題数の農業・水産業別、県別の内訳は以下のとおり。

現地実証研究課題：農業7（岩手2、福島5）、水産4（宮城1、福島3）

社会実装課題：農業4（岩手1、宮城1、福島2）、水産3（岩手1、宮城1、福島1）

また、専門POは原則として各課題について主担当と副担当の2名体制とし、このうち、社会実装の課題については研究成果の社会実装を促進するため1名は普及経験者を充てた。委託者の承認を得た上で、協会の非常勤専門協力員として委嘱した。

専門POの主な業務は以下のとおり。

- ・ 研究動向等の調査・情報収集・提供
- ・ 研究課題の進捗状況の管理と報告
- ・ 総括PO等農林水産省担当官及び専門PO管理者等との緊密な連絡調整

### イ 基礎的研究業務追跡調査業務

農研機構生研支援センターが行う業務のうち、研究資金事業で実施した190の研究課題について、研究事業終了後一定期間を経過した時点で、科学技術的、社会経済的あるいは学術的にどのような成果を上げ又は波及効果をもたらしたかを把握・分析するため、研究代表者等へのアンケート調査及び面接調査等の業務を行った。

調査種類別の対象課題数は以下のとおり。

- ① アンケート調査 190 課題
  - ・ 革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）（3年後調査）  
平成28年度終了の30課題
  - ・ 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（2年後及び5年後調査）  
平成29年度終了の75課題、平成26年度終了の85課題 計160課題
- ② 面接調査 30 課題
- ③ ステークホルダー（技術の受け手）調査 5 課題

### ウ スマート農業実証プロ事業の運営・進行管理支援事業等

農研機構が本年度から実施しているスマート農業実証プロ事業において、採択された69課題の管理・グループウェアの運用、機構外の専門POの管理、諸会議の開催支援、コンソーシアムに対する経理指導、アウトリーチ活動のためのイベント開催支援、研究成果の情報発信等の業務を行った。

また、令和2年度新規採択課題に係る審査支援業務に取り組み、1次書類審査及び2次面接審査の審査委員候補者の選定、審査実施依頼、審査結果の取りまとめ等を行い、3月31日(火)には委託者より採択課題52課題が決定・公表された。

### (3) 地域における産学連携、新産業創出のための支援

#### ア 「知」の集積による産学連携支援事業

農林水産・食品産業の成長産業化を通じて、国民が真に豊かさを実感できる社会を構築するため、農林水産・食品分野と様々な分野の連携により、革新的な研究成果を生み出し、これらをスピード感を持って商品化・事業化に導くため、平成28年度に「知」の集積と活用の中という産学連携研究の仕組みが立ち上がっている。

この仕組みの中で、当協会は地域産学連携コンソーシアムの代表機関として、全国に配置した高度な専門知識を有するコーディネーター（CD）を駆使し、民間企業等が行う商品化・事業化に向けた研究開発や農林水産・食品分野と様々な分野が連携した研究開発の促進を図った。

また、地域においてセミナーを開催し、研究開発シーズや商品化・事業化ニーズの収集・提供等を行うとともに、各地域での技術交流展示会の開催を通じて、研究開発の成果が商品化・事業化に結びつくよう取組みを行った。

#### ・連絡調整会議等

第1回連絡調整会議 6月12日(水) TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター

第2回連絡調整会議 3月4日(水) は、新型コロナウイルスの影響で急遽中止

#### ・事業化可能性調査 … 本年度、13件を案件登録し実施した。

第1回募集 6月20日(木)～7月12日(金) : 案件登録3件

第2回募集 8月5日(月)～8月28日(水) : 案件登録2件

第3回募集 9月17日(火)～10月8日(火) : 案件登録1件

第4回募集 10月21日(月)～11月11日(月) : 案件登録なし

第5回募集 11月25日(月)～12月13日(金) : 案件登録7件

#### ・「知」の集積と活用の中 定時総会 7月23日(火) 農林水産省講堂

産学連携支援コーディネーターによる個別相談会実施 同7階国際部第2会議室

#### ・高専機構WEB講演 8月5日(月) 高専機構東京オフィス

#### ・Bio Japan 2019 10月9日(水)～11日(金) パシフィコ横浜 ブース展示

8月20日(火)、10月9日(水) 主催団体連絡会

#### ・「知」の集積と活用の中 ポスターセッション 10月31日(木) 農林水産省講堂

産学連携支援コーディネーターによる個別相談会実施

#### ・フード・フォーラム・つくば企業交流展示会 11月1日(金) つくば国際会議場 ブース展示

#### ・アグリビジネス創出フェア2019 in Hokkaido 11月15日(金)～16日(土)

サッポロファクトリー ブース展示

#### ・アグリビジネス創出フェア2019 11月20日(水)～22日(金) 東京ビッグサイト

出展者選定、ブース展示、個別相談やマッチングサポートツアー実施ほか

#### ・アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 12月10日(火) 沖縄県立美術館・博物館 (那覇市)

#### ・アグリ技術シーズセミナー in 北陸 12月16日(月) 石川県教育会館 (金沢市)

#### ・アグリビジネス創出フェア2019 in 東海・近畿 1月28日(火)～29日(水)

ウインクあいち (名古屋市) ブース展示

イ アグリビジネス展開支援事業のうちベンチャー企業等と生産現場の連携の促進委託事業

A I、ICT等の先端技術は現場での利用経験を通じて実用性・有用性を高めていくことが必須であるが、農業の場合、他産業と異なり、実用スケールで先端技術を検証できる場が農業者のほ場などに限られるため、容易に先端技術のつくり込みや有用性に関するエビデンスの構築が進まず、ベンチャー企業等の事業展開にとって最も大きな障害となっている。

こうした課題を解決するため、農林水産省では、アグリビジネス展開支援事業において補助事業を措置し、生産現場とベンチャー企業等との連携を進め、優れた先端技術の生産現場におけるつくり込みを促すこととしている。当該補助事業を踏まえ本委託事業においては、ベンチャー企業等が保有する先端技術の農業分野での活用をより強力に推進することを目的として、先端技術の活用に向けたシンポジウムの開催、先端技術の展示・実演会の開催及び先端技術の導入に係る相談窓口の対応等の課題に取り組んだ。

・農業分野における先端技術活用に関するシンポジウムの開催

タイトル：令和元年度 農林水産省 ベンチャー/生産現場連携促進シンポジウム  
「農業における先端技術活用の加速化を目指して II」

日時：令和2年2月14日(金) 13:00~16:50

会場：日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール(地下1F)

・農業分野における先端技術活用展示会の開催

「スマート農業を目指す先端技術フェア in 宮城」

開催場所：夢メッセみやぎ 西館ホール

宮城県仙台市宮城野区港3丁目1-7

開催日時：令和元年11月14日(木)~15日(金) 10:00~16:00

「スマート農業を目指す先端技術フェア in 愛媛」

開催場所：松山市総合コミュニティセンター 1階企画展示ホール

愛媛県松山市湊町七丁目5番地

開催日時：令和元年12月19日(木)~20日(金) 10:00~16:00

「スマート農業を目指す先端技術フェア in 愛知」

開催場所：名古屋国際センター 別棟ホール

愛知県名古屋市中村区那古野一丁目47-1

開催日時：令和2年1月28日(火)~29日(水) 10:00~16:00

・農業コンサルティング事業の自立化に関する取り組み

相談窓口の開設、コンサルティングを伴う先端技術導入の優良事例調査を行った。

### 3 農林水産・食品分野における試験研究、技術開発を振興するための助成及び先端産業技術の開発

地域の実態に即した技術開発に対する助成や革新的な技術開発を通じて、農林水産業・食品産業における技術革新を目指した事業を実施した。

#### 1) 研究の助成

協会が運営する「新稲作研究会」事業として、我が国の土地利用型農業の活性化及び需要に応じた農業生産の拡大・環境保全に資するため、低コスト稲作、水田高度利用、野菜果樹作等の機械化一貫栽培体系の確立と普及を目的とした試験及び現地実証展示圃事業を、試験研究機関及び普及機関に委託して実施した（32課題実施）。

##### ①令和元年度役員会等の開催

- ・第1回委員会 6月24日(月) 共同通信会館会議室
- ・第2回委員会 11月27日(水)午後 ヤンマー(株)東京支社会議室
- ・実施課題審査選考委員会 11月27日(水)午前 ヤンマー(株)東京支社会議室

##### ②令和元年度委託試験・現地実証展示圃の委託課題

32課題について実施した。

|    | 新規 | 継続 | 計  |
|----|----|----|----|
| 試験 | 12 | 15 | 27 |
| 展示 | 5  | 0  | 5  |
| 計  | 17 | 15 | 32 |

##### ③令和2年度委託試験・現地実証展示圃設置等の課題募集

募集期間：7月10日(水)～9月30日(月)

応募件数：55課題（うち継続19、新規36）

内定数：32課題（うち継続19、新規13）

|    | 新規 | 継続 | 計  |
|----|----|----|----|
| 試験 | 10 | 18 | 28 |
| 展示 | 3  | 1  | 4  |
| 計  | 13 | 19 | 32 |

##### ④中間検討会等の開催

- ・第1回現地中間検討会 8月22日(木)高品質・高付加価値農産物の生産・供給技術の確立  
室内検討会議 スカイホテル魚津 大ホール（富山県魚津市内）  
現地見学 富山県下新川郡朝日町内 実証圃場
- ・第2回中間検討会 10月17日(木)情報処理等先端技術の活用による高生産システムの確立  
室内検討会議 農研機構農業技術革新工学研究センター 散布実験棟 3階 会議室

##### ⑤令和元年度講演会・成績検討会の開催（中止）

3月5日(木) 10:00～19:00、メルパルク東京で開催予定であったが、新型コロナウイルスの国内感染問題等の状況を踏まえて開催を中止し、来年度になってから諸事情を勘案の上、開催を検討することとした。

## 2) 農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合等の事務局活動

### (1) 農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合

マイクロバブル発生装置利用に関する可能性調査、大学、企業等の情報収集と会員等への発信、セミナー等の開催とともに、「知」の集積と活用の場においては農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォームの中心メンバーとして、マッチングによるリサーチプロジェクトの構築を図り、また、研究開発プラットフォーム間の連携にも努め、マイクロ・ナノバブル技術の研究開発が様々な分野に展開するよう働きかけた。

- ・第10回通常総会及びR1年度第1回理事会 5月10日(金) 13:30~5:00

JATAFF 会議室

- ・R1年度第2回理事会 3月30日(月) 16:00~17:00

株式会社前川製作所 本社 2階会議室

- ・公開セミナー 10月11日(金) 13:10~17:00 株式会社前川製作所 本社 共創ホール

「マイクロ・ナノバブル(ファインバブル)の存在に迫る科学と国内外における技術の応用・普及」

- ・第15回ファインバブル国際シンポジウム後援 11月26日(火)

早稲田大学 小野記念講堂

### (2) バイオテクノロジーに関する国民理解の増進と技術動向等の調査研究(戦略的イノベーション創造プログラム(SIP第2期))

NBT 実用化戦略会議の事務局等を担当した SIP 第1期に引き続き、昨年度スタートした SIP 第2期において、「バイオテクノロジーに関する国民理解の増進と技術動向等の調査研究(戦略的イノベーション創造プログラム(SIP第2期))」にコンソーシアムの一員として参画し、ゲノム編集等最新のバイオテクノロジーに関する国民の理解増進に向けて、情報発信用ウェブサイト「バイオステーション」の制作、情報発信部会の運営等に取り組んだ。

- ・令和元年度第1回推進会議・情報発信部会 5月17日(金) 13:30~17:15
- ・令和元年度第2回情報発信部会 7月19日(金) 14:00~16:00
- ・令和元年度第3回情報発信部会 9月27日(金) 10:00~12:00
- ・情報発信用ウェブサイト「バイオステーション」の公開(9月3日)
- ・企業関係者等を対象としたゲノム編集に係る勉強会「ゲノム編集技術およびその利用食品を巡る技術開発・環境整備動向」開催 9月27日(金) 14:00~16:50  
共同通信会館5階A+B会議室(共催: JATAFF 「安全性・品質保証部会」)

### (3) 「知」の集積と活用の場」等研究開発プラットフォーム

#### ア 次世代育種技術研究開発プラットフォーム

管理運営機関: JATAFF プロデューサー: 雨宮 JATAFF 理事長

遺伝資源問題、育種技術の発展に伴う知財や規制、社会実装の問題等について情報交換、議論を行い、遺伝資源の有効活用、ゲノム編集を始めとする次世代育種技術等を利用した新品種開発とその社会実装を図るためのビジネスモデルを作成し、それを実現するために必要な技術課題等についての研究課題の企画提案に向けて活動した。

- ・「知」の集積と活用の場産学官連携協議会プロデューサー会議(第1回)に参加(5月17日)

- ・プラットフォーム第1回勉強会「植物ミトコンドリアのゲノム編集と細胞質雄性不稔原因遺伝子の特定」開催 9月26日(木) 14:00~16:00 三会堂ビル A会議室(共催: JATAFF 第551回 技術情報交流セミナー)
- ・プラットフォーム第2回勉強会「ゲノム編集技術およびその利用食品を巡る技術開発・環境整備動向」開催 9月27日(金) 14:00~15:00 共同通信会館A・B会議室(共催: JATAFF 「安全性・品質保証部会」)
- ・「知」の集積と活用場の産学官連携協議会「第1回新事業創出会議」に参加 (10月4日)

#### イ 農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォーム (FBPAF)

管理運営機関: ファインバブル産業会 (FBIA)

プロデューサー: 佐藤龍太郎 (JATAFF 産学連携事業部長)

JATAFF が事務局を務める農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合の活動の一環として FBPAF の中核的役割を果たし、ファインバブルを用いた農林水産・食品水産・食品産業支援機能(生長促進、洗浄・殺菌、除染、機能獲得等)の研究開発において他分野とのマッチングを図るなどの活動を行った。

- ・「知」の集積と活用場のポスターセッション 10月31日(木) 農林水産省講堂  
ポスター展示
- ・第7回プラットフォーム総会・会員交流会 11月19日(火) FBIA 会議室

#### ウ Society5.0の実現に向けたデータ駆動型ソリューション研究開発プラットフォーム

管理運営機関: 農研機構 プロデューサー: 田中健一(農研機構総括調整役)

全都道府県の農業関係公設試験研究場所(農業場所長会)、農研機構及び13の大学で構成され、農業・食品分野における Society5.0の実現に資する種々の研究コンソーシアムの設立に向けた活動を行う研究開発プラットフォームの事務局を担当した。

- ・5月22日 第1回プロデューサー会議
- ・6月20日 研究開発プラットフォーム 令和元年度総会
- ・11月14日 第2回プロデューサー会議

#### エ 農業生産現場発の研究開発プラットフォーム

管理運営機関: JATAFF

農業生産現場にMOTを導入し、農業者の創意工夫を活かした生産現場発の技術イノベーションを促進するため、農業者、研究機関、企業等によるプラットフォームの構築を目指して、シンポジウム、ワークショップ等を開催した。

- ・6月13日(木) JATAFF 内の会議室において、生産現場の課題抽出に関するワークショップを開催
- ・7月29日(月)、30日(火)、8月5日(月) 三日間にわたって、三会堂石垣記念ホール並びに金沢市、東広島市の3カ所において、OECD エコノミストの木村伸吾氏を招聘し、OECD が発表した我が国農業に関する国別政策レビューである「日本農業のイノベーション~生産性と持続可能性の向上をめざして~」について講演会を開催するとともに、生産現場発のイノベーション創出に関するワークショップを開催した。

#### (4) 研究開発事業の研究管理運営機関業務

##### ア 29年度補正「生産性革命に向けた革新的技術開発事業」

「スマート捕獲・スマートジビエ技術の確立」 H30～R2年度（3年間）

研究代表機関：長崎県農林部 研究管理運営機関：JATAFF

18機関で構成される「被害対策に資する捕獲・利活用推進コンソーシアム」の研究管理運営機関として、ジビエ利用の推進に資する鳥獣対策技術の開発を推進した。

- ・ 6月3日(月)～4日(火) 第1回研究推進会議 農研機構中央農業研究センター
- ・ 12月9日(月)～10日(火) 第2回研究推進会議 宇都宮大学

##### イ 農研機構農業技術革新工学研究センター「農業機械技術クラスター事業」

- ・「カウシグナルのスコア化・判定システムの開発」R元～R3（3年間）
- ・「越冬ハクサイ頭部結束機の開発」R元～R3（3年間）
- ・「セル苗を利用したハウレンソウ移植栽培技術の開発」R元～R2（2年間）
- ・「豚舎洗浄ロボットの実用化研究」R元～R3（3年間）

上記4課題について、農研機構革新工学センター、公設試、民間企業等がコンソーシアムを設立し、JATAFFが管理運営機関として参画した。

#### (5) 農林水産先端技術研究所の活動

農林水産先端技術研究所の建物・施設は、農林水産家畜ゲノム研究の実施推進等に利用することを目的として、平成28年12月に農研機構へ無償譲渡（土地は地上権を設定し無償貸与）した。

農研機構から利用状況についての報告を受けるとともに寄付目的に沿って利用されていること及び寄付財産の現況等を確認し、公益財団法人全国競馬・畜産協会へ報告した。

## II その他の事業

### 1 農林水産技術同友会等への協力

#### 1) 農林水産技術同友会事務局

監事監査：5月13日(月)、JATAFF 会議室 平成30年度収支決算報告書などについて

幹事会：5月27日(月)、JATAFF 会議室

支部長会議・役員会・総会・講演会・懇親会：6月26日(水)、法曹会館

新年賀詞交歓会 1月22日(水) 12:00～14:00 法曹会館

同友会報：67号、会員名簿発行

同友会メールマガジン：25～55号（3月31日まで）

#### 2) 全国農業関係場所長会事務局

第1回役員会 5月22日(水) 三会堂ビル2階S会議室

第2回役員会 6月20日(木) 三会堂ビル9階第2会議室

令和元年度総会・表彰式 6月20日(木) 三会堂ビル9階石垣記念ホール

第3回役員会 11月14日(木) 三会堂ビル2階A会議室

## 2 民間育成品種等の公的機関での評価試験委託

会員企業等からの要請に基づき、会員企業等が育成した品種の評価試験を関係試験研究機関に委託して実施した(13県、延べ75件で実施)。

## 3 専門部会活動

「安全性・品質保証部会」を通じて、会員活動の充実と関係官庁、関係業界との情報交換、さらには会員参加による効果的な事業運営を図った。

・第1回幹事会 4月18日(木) 16:00~17:30 JATAFF 会議室

・第1回部会講演会 9月27日(金) 14:00~16:50

共同通信会館A・B会議室 参加者数72名

ーゲノム編集技術およびその利用食品を巡る技術開発・環境整備動向ー

(SIP第2期「バイオテック国民理解」における情報発信活動との共催)

講演Ⅰ：ゲノム編集技術の産業界での応用

(国研) 農研機構 企画戦略本部新技術対策室 田部井 豊 室長

講演Ⅱ：ゲノム編集技術利用食品に関する行政対応の現状と今後の方向性

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 新開発食品保健対策室 杉原 香織 主査

講演Ⅲ：ゲノム編集作物・食品等の取り扱いに関する海外の動向

東京大学 公共政策大学院 松尾 真紀子 特任講師

・第2回部会講演会 11月29日(金) 共同通信会館 5階A会議室 参加者数36名

演題：「食品産業の品質管理におけるAI活用の可能性と現場導入の実際」

講師：群馬県立群馬産業技術センター 研究調整官 細谷 肇 氏

また、新たに、「糖質・澱粉技術部会」、「食品機能性部会」等の設置に向けて、部会活動の運営形態・活動内容等の検討、当該分野のアカデミア有識者との意見交換、会員企業の部会活動に対するニーズの把握等に取り組んだ。

## 4 政策提言

政府より昨年6月に公表された「バイオ戦略2019」に関して、農林水産省が戦略に基づくロードマップを策定するに当たり、JATAFFにおいて、会員企業・団体や研究機関等関係者による意見交換の場の設定を行うとともに、展開方向等に関する関係者の意見集約を行い、農林水産省に提言として提出した。



### Ⅲ 総務関係

#### 1 総会

令和元年度定時総会 6月17日(月) 13:30~15:05 三会堂ビル9階石垣記念ホール

#### 2 理事会

令和元年度第1回理事会 5月20日(月) 13:30~14:50 三会堂ビル2階A会議室

令和元年度第2回理事会 10月18日(金) 10:30~12:00 三会堂ビル2階A会議室

令和元年度第3回理事会 3月13日(金) 13:30~15:30 三会堂ビル2階A会議室

#### 3 事業監査

5月14日(火) 10:00~12:00 JATAFF 会議室

平成30年度事業についての監事監査

#### 4 運営委員会

11月6日(水) 13:30~15:30 TKP新橋カンファレンスセンター

#### 5 内閣府公益認定等委員会事務局定期立入検査

1月31日(金) 10:00~15:00 JATAFF 会議室